

「日本の展望 2020（仮称）」の各論について

1. 多様性と包摂性のある社会へ——公正と共生の実現

○コンテンツ:

1-1 個人の尊厳——「だれ一人取り残さない」(SDGs2030 アジェンダ)

- (1)誰もが自分らしく生きられる未来への道筋
- (2)国際社会と人権——個人の尊厳
- (3)ビジネス・企業と人権——社会的責任の分かち合い方

1-2 公正な社会へ——ジェンダー平等と差別解消

- (1)ジェンダー平等の達成
- (2)暴力の廃絶——女性・子どもの安心・安全へ
- (3)ジェンダーバイアスと教育
- (4)SOGI 差別の解消とダイバーシティの実現
- (5)障がい者差別の解消とのエンパワメント

1-3 包摂性ある社会へ——共生の実現

- (1)多様性・共生・複線型の人生:柔軟な社会、柔軟な個人へ
- (2)外部からやって来る人々との幸福な共生社会の創造
- (3)多文化共生と包摂社会
- (4)多様な人々の共生社会をサポートする情報技術

2. 持続發展的(な社会)

○コンテンツ:

2-1 少子高齢化・人口縮小

- (1)「多様な生き方」と「人口縮小」のパラドックスを解消する施策を
- (2)多様な人生後半の生物学的基盤
- (3)長寿社会への対応:高齢者の生存保障——年金・介護
- (4)若者にのしかかる負担の解消

2-2 貧困と格差の克服

- (1)「格差社会」の克服と「ディーセント・ワーク」の実現
- (2)重なり合う地域格差に取り組む
- (3)グローバル経済の展開と日本の課題

2-3 未来に向けた社会正義の実現プロセス

- (1)持続可能性の経済・政治的条件
- (2)正義実現に向けた社会の自己解決力を高める
- (3)平和と人権保障
- (4)変化するアジアの中の日本

2-4 持続発展のための教育

- (1)教育に関し総論的内容
- (2)労働力不足を補う外国人を受け入れるだけでなく、むしろ、グローバル化を牽引する人材の育成の観点から、特に留学生を中心として指導的地位になり得る若者を中心に人材育成の推進
- (3)アジア等の優秀な研究者の受け入れによる産業の活性化と学術研究のさらなる発展とそのための魅力ある環境

3. 文化(仮)

○コンテンツ:

序

3-1 クール・ジャパン

はじめに 日本における文化産業と文化政策—ジャパン・クールを参照軸に

- (1) 日本国内における文化産業と文化政策の現状と課題
- (2) 日本文化の海外発信—その可能性と限界
- (3) 日本における文化政策の未来

3-2 文学

- (1) AIと「文学」の関係
- (2) 文学研究におけるデジタル化の問題

(3-2の後の追加項目として「本の未来(紙の本の生き残りについて)」を検討中)

3-3 芸術・デザイン

ライフデザイン中心に。デザイン思考, 知識創造プロセス研究の観点から論じる。

3-4 博物館・美術館・文化財

3-5 歴史資料・公文書の保全

- ・日本史学の特徴
- ・戦後の歴史資料保存運動
- ・世界のアーカイブズに学ぶ
- ・現状と今後の課題——2030年を見通して

3-6 スポーツ

はじめに 戦後日本におけるスポーツ政策

- (1) スポーツ基本法の意義
- (2) 生涯スポーツと競技スポーツ
- (3) スポーツ・フォア・オールに向けて

他に、博物館に関しては第三部、スポーツに関しては第二部に執筆者推薦を依頼中。

4. 医療の未来社会

○コンテンツ:

4-1 少子高齢化社会

- (1) 我が国における生殖補助医療の今後
- (2) ケア・イノベーションによる健康寿命の延伸(社会の高齢者受入を含む)
- (3) 認知-共生と予防-
- (4) 最先端の老化・寿命研究が日本社会に与えるインパクト:プロダクティブ・エイジングの実現

4-2 ゲノム医療の10年後

- (1) 総論 ゲノム医療の10年後
- (2) ゲノム医療による癌治療
- (3) 多因子疾患のゲノム医療
- (4) 個人情報としてのゲノム

4-3 医療におけるビッグデータ・AI

- (1) 人とAIの協働による医療
- (2) ビッグデータ・AIが拓く医療・創薬の未来
- (3) 医療ビッグデータ

(4) IoMT(Internet of Medical Things)機器の脆弱性・倫理

5. 知識社会と情報

○コンテンツ:

5-1 知の創造と知的社会基盤

- (1)知の創造
- (2)知の多様性とオープンサイエンス
- (3)学術情報を支える知的社会基盤

5-2 大学のあり方と大学改革

- (1)大学における教育研究
- (2)大学からのイノベーションと情報発信
- (3)リカレント教育
- (4)ダイバーシティの推進
- (5)大学改革

5-3 サーバーセキュリティと安全保障

- (1)日本におけるサイバーセキュリティ
- (2)サイバーフィジカル空間の安全性と信頼性
- (3)サイバーセキュリティと人材育成
- (4)サイバー攻撃と安全保障

5-4 プライバシーとデータ戦略

- (1)プライバシー保護と一般データ保護規則
- (2)データポータビリティの実現
- (3)データ利活用の未来とリスク

5-5 AI, ロボットの進化の影響

- (1)AI/ロボットの進化
- (2)人とAI/ロボットとの共生
- (3)AI ガバナンスとリスク

6. 国土の保全と資源管理

○コンテンツ:

6-1 人口減少社会における国土利用のあり方

6-2 農業・農村・農産物の展望

6-3 森林環境と林業の展望

6-4 野生動物等の管理+ α

6-5 海洋環境と水産資源管理の展望

6-6 農業と工学の連携による産業育成と国土保全

6-7 防災減災と日本学術会議の役割

7. エネルギー・環境問題

○コンテンツ:

- 7-1 長期的・世界的視野に立った気候変動・エネルギー政策
- 7-2 持続的なエネルギーインフラの構築・維持に関する政策
- 7-3. エネルギー・環境分野の科学・技術
- 7-4. 社会の変容とエネルギー需要
- 7-5. エネルギー・環境教育

8. 日本学術会議の世界の学術界における役割

○コンテンツ:

- 8-1 世界の学術界の発展と日本学術会議の役割—国際学術会議の意義と日本学術会議の果たすべき役割を中心に
- 8-2 持続可能な開発目標 (SDGs) の国際展開に対する学術界の貢献と日本学術会議の役割—科学が生み出すイノベーションを中心に
- 8-3 学術研究の国際ネットワークと地球規模課題の解決に向けた研究協力における日本の学術の役割 (IPCC、IPBES、Future Earth を含む)
- 8-4 環境・防災を中心とした国際研究ネットワークに果たす日本の学術の役割—アジア・太平洋地域を中心に
- 8-5 国際政治フォーラムにおける学術界の役割と日本学術会議の貢献—G7アカデミックサミット、サイエンス 20 (S20) への貢献を中心に

9. 日本の学術の展望

○コンテンツ:

- 9-1 序論—本章の基本的なねらい
- 9-2 日本の学術の最前線
 - (1)第一部から
 - (2)第二部から
 - a. 神経科学
 - b. 日本発・世界標準のモデル生物としてのゼニゴケ
 - c. iPS 細胞技術によるがん細胞の理解と制御
 - (3)第三部から
- 9-3 学術を支える基盤を整える
 - (1)人材育成
 - (2)資金
 - (3)組織
- 9-4 学術の社会的広がり
 - (1)社会の多様な場面での活躍が期待される博士人材
 - (2)博士人材の様々なキャリアパス
 - (3)高度化する社会とリカレント教育
 - (4)博士人材の活躍の場を生み出す社会変革
- 9-5 まとめ